

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年8月28日現在

概況 オレゴン州の2011年8月28日に終わる1週間は、高温・少雨の気象であった。Willamette Valleyの最高気温は89~91度F、最低気温は50~54度Fであり平均気温は平年を7~14度F上回った。Valleyの1週間の降水量は最も多かったのがPortlandで0.17インチ、その他の観測所では0.00~0.03インチであった。NC地区の最高気温は93~98度F、最低気温は51~60度Fであり、平均気温は平年を8~15度F上回った。1週間の降水量は0.00~0.10インチであった。降雨は雷雨によるものであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.8日(前週:6.9日)であった。冬小麦の収穫は各地で順調に進んだ。Washington郡の一部の圃場では、春先の低温多雨とその後の黄さび病(Rust)の為に単収を落とした。しかし、多くの黄さび病が報告された圃場では高単収が報告されていた。NC地区のSherman郡では8月24日に雷雨、26日に驟雨があり、収穫が半日程度中断したが、露の発生は少なく、収穫は概ね順調であった。単収は良好との報告であった。Umatilla郡の冬小麦の収穫は最終段階となった。冬小麦の収穫は州全体で87%の圃場にて完了した。昨年より収穫は1週間遅れていたが単収は昨年を上回る模様。春小麦の収穫は全州の65%にて完了し、昨年より凡そ2週間の遅れであった。Soft White Wheatの品質は、Willamette Valleyのものは、昨年より多少水分は高目、低タンパク、高容積重であるが、FN値は300未満が報告されていた。NC地区のSoft White Wheatでも低目のFN値が報告されているが、平均308程度であった。タンパク質は平均9.4%であり、昨年より低目であった。2011年産の冬小麦の単収は昨年以上の予想であり、春小麦の単収は昨年を下回る予想であった。

2011年8月28日現在：土壌水分(*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		19	40	40	1
	Last week		11	49	39	1
Subsoil	This week		8	40	50	2
	Last week		9	42	47	2

2011年8月28日現在：冬小麦の生育状況(*)

	(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested		87	71	98	98

2011年8月28日現在：冬小麦の作柄状況(*)

	(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week		0	3	14	66	20
Last week		0	3	15	53	29

2011年8月28日現在：春小麦の生育状況(*)

	(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested		65	52	98	90

2011年8月28日現在：春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	17	68	14
Last week	0	1	17	60	22

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

(*) Source: National Agricultural Statistics Service, USDA

以上